

# ひだまり

## 沢山の笑顔に感謝

～ 鶴岡市立第二中学校 ～

10月6日(木)、のぞみの園に鶴岡市立第二中学校の生徒の皆さんが来園しました。合唱や「一世風靡セピアの『前略、道の上より』」の音楽に合わせての踊りを披露していただきました。初め緊張していた生徒さんも、ご利用者とのゲームを通じ、時間と共に和やかな雰囲気になりました。生徒の皆さんが帰るときには、ご利用者から「また来てのー」との声があり、笑顔で応えてくれた生徒の皆さんが印象的でした。(三浦)



ひだまり Vol.43

### 医療法人社団 みつわ会

山形県鶴岡市茅原町26番23号

〈事務局〉TEL0235-25-8255

- ・老人保健施設 のぞみの園
- ・グループホーム ひだまりの家
- ・のぞみの園訪問介護サービス
- ・茅原クリニック
- ・ケアプランセンターひだまり
- ・有料老人ホームサニーハウス茅原
- ・有料老人ホームみつわ荘
- ・有料老人ホーム共栄荘
- ・有料老人ホームあじさいの家
- ・ライフサポートハウス千寿

発行日 平成23年12月1日

発行人 施設長 佐藤久美



「サテライト老健のぞみ」



工事の様子H23.10.27



工事の様子H23.11.14



工程会議の様子

1F 通所スペース・入所スペース・足湯

- ・療養室 ・診察室 ・機能訓練室 ・談話室(地域交流室)
- ・共同生活室 ・浴室 ・調理室 ・通所食堂
- ・サービスステーション 等

■ 通所 定員 30名

ご自宅からの送迎・入浴・食事・リハビリ・レクリエーション等を含めたサービスとなっております。専門スタッフによるリハビリを中心に、ご利用者の心身機能の維持・向上を図り、その能力に応じ、在宅で自立した生活が営めるように支援いたします。

2F 入所スペース(全室個室)

- ・療養室 ・機能訓練室 ・共同生活室 ・浴室
- ・調理室 ・サービスステーション 等

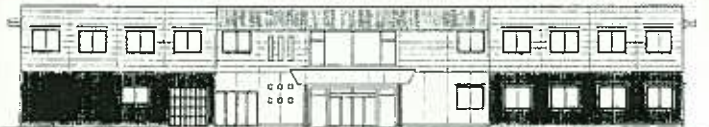
■ 入所 定員 29名(短期入所含む)

全室個室により、入所者の尊厳を守り、個別ケアを重視したユニットケアを実践し、安心して生活が送れるように工夫しております。施設での療養生活を通じて日常生活の自立援助のため、リハビリを実施し、在宅復帰を目指します。短期入所については、ご家族の方が、介護疲れや、冠婚葬祭、旅行等で介護が一時的に出来ない時にご利用頂けます。

温泉

サテライト老健「のぞみ」では、ご利用の方に「温泉」の入浴サービスを提供する予定です。また、1階の地域交流室には、温泉を利用した「足湯」があり、一般の方も自由にご利用頂けます。

完成予想図(外観)



「サテライト老健ちわら」

1F 通所スペース

- ・機能訓練室 ・相談、会議室 ・浴室 ・デイルーム
- ・サービスステーション
- 通所、訪問介護サービス、
- 居宅介護支援事務所ケアプランセンターひだまり 等

■ 通所 定員 30名

通所リハビリテーション  
介護予防リハビリテーション

2F 入所スペース

- ・療養室 ・機能訓練室兼レクリエーション室
- ・食堂兼談話室・浴室

■ 入所 定員 29名(短期入所含む)

療養室: 個室(トイレ付) 2室  
多床室 2名室-4室  
3名室-1室  
4名室-4室

共有スペース、共同生活室、浴室、機能訓練室、等

完成予想図(外観)



安心

医療機関が隣接することで、緊急時の迅速な対応ができます。また、施設から望める鳥海山と稲穂の成長とともに、四季を感じられる景観です。

# 祝 老人保健施設合同ソフトバレー大会 優勝

11月6日（日）、庄内町総合体育館にて庄内・最上地区老人保健施設合同ソフトバレーボール大会が行われました。今年度は、庄内・最上地区から13チームが参加し、4つのリーグに分かれ戦いました。当施設は、予選と決勝リーグ2試合ずつ戦い、予選リーグは2勝で1位通過し、決勝リーグも予選の勢いそのままに決勝戦に進みました。決勝戦では、さすがに相手チームも手強く25対20と接戦の末、優勝の栄冠に輝くことが出来ました。

当法人では毎月、職員交流や健康管理を大きな目的としてソフトバレーボールや硬式テニスなども行っています。スポーツを通して職員同士の親睦も深まり、チームワークや明るい職場環境づくりに繋がっています。（鶴田・本間）



## 老人クラブ連合会会長賞受賞 鶴岡市高齢者作品展

鶴岡市高齢者作品展には、多くのご利用者様の作品が出展されました。作品は、趣味活動としてだけでなく、リハビリ（作業療法）も兼ねて、一つ一つ丁寧に作られた温かみのある作品ばかりです。職員の声掛けの中、和気あいあいと作り上げられ、職員とご利用者様の気持ちが一つになったアイデアあふれる素晴らしい作品になっています。その結果、「鶴岡市老人クラブ連合会会長賞」をのぞみの園が表彰されました。

これからもご利用者様に趣味活動の時間を楽しんでいただけるよう心掛けていきたいと思っております。

（田中・渡部）



アートフォーラムにて



# 大規模災害初動対応訓練

庄内沖を震源とした地震を想定

2011年3月11日におこった三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震（東北地方太平洋沖地震）とそれに伴う津波による大震災はまた起こるのでしょうか。その問いかけに答えられる人はいないでしょう。答えを待つ前に、法人としてはこのような大規模災害に備え、初動30分の対応訓練を10月1日に行った。

想定は庄内沖の日本海を震源とする震度6の地震が発生し、施設内は停電をし、入居者等にけが人が発生したとの設定。

参加者はあらかじめ対策本部を中心に、4つのセクションに分けられ、各々が役割を確認しながら行われた。事前に各セクションで打合せが行われ、職員間での相互理解力を高め、統率力の向上が図られた。この訓練での本来の目的は、想定している対応がどの程度実行できるかどうかであった。

筆者は実際にその現場に参加した。ライフライン施設復旧班という施設の生命線を預かるセクションで施設の状況を把握し、発電機を所定の場所に設置して電源の確保が求められていた。発電機は可搬式とはいえ、約90キロの重量。それを所定の時間の中、汗だくで対応した。実際に予定していた工程通りとはいかなかったが、今後の反省課題として活かせる内容であった。

この訓練を通して様々な想定を検討し、有事の際にはご利用者の生命を守れるよう行動したいと考えさせられた。（丸屋）



老人保健施設のぞみの園

介護主任 栗田好幸

ありがとう

私は今年人生で初めて家族が亡くなるという経験をした。私の祖母は肺ガンを患い5年間病氣と闘った。手術はしたものの、その後も病魔は着々と祖母の体を蝕み腫瘍は脳にまで達し最後は病室のベッドの上で家族や親族に見守られながら静かに人生の幕を下ろした。

肺ガンの手術を終えた頃だ。徐々に認知症が進む祖母との会話がちぐはぐになると、私は強い口調で苛立ちを表に出し、歩くことが辛くなって来た事を心配し、無理に歩く事を強要した事もあった。私は元気だった頃の祖母の姿が頭の中から離れず、認知症が進んで行く姿を受け入れる事ができなかった。

そんな時、妻から「なんで優しく接してあげられないの」「仕事も同じでしょ」と問われ、仕事と家族は違うと否定しながらも、今まで祖母への態度を振り返り申し訳ない気持ちになった。そんな妻は祖母に優しく接し、仕事でも昼休みには家に帰り食事介助をしたり帰ると直ぐにオムツを交換し、何一つ文句を言う事も無くただ祖母の為にと一生懸命だった。そんな姿を見ていると、自分が間違っている事に気づかざるを得なかった。

「認知症を抱える家族の4つのステップ」という物がある。1段階目は「戸惑い・否定的な感情を抱く」 2段階目は「混乱と怒り」 3段階目は「諦め・割り切り・開き直り」 4段階目は「受容」。各段階を過ぎれば逆行しないわけではなく行ったり来たりを繰り返す。このステップで認知症の方と向き合わなければならないが、仕事とは違い、家庭の中の介護となるとその事に気がつかなかった自分がいた。

最後に祖母を通して改めて教えられたと感じる。又、あの時、妻からの一言により、祖母に優しく接することができたのかと思えば思うほど、二人への感謝の気持ちを届けたい。「ありがとう。」